

ADVANTEST®

2022年度（2023年3月期） 第3四半期決算説明会

2023年1月31日
株式会社アドバンテスト

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

ご注意

会計基準について

- 本プレゼンテーション資料に記載されている実績や見通し数値は、国際会計基準（IFRS）に基づいて作成しています。

将来の事象に係る記述に関する注意

- 本プレゼンテーション資料およびアドバンテスト代表者が口頭にて提供する情報には、将来の事象についての、当社の現時点における期待、見積りおよび予測に基づく記述が含まれております。これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているものまたは暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知および未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

本資料の利用について

- 本プレゼンテーション資料に記載されている情報は、各国の著作権法、特許法、商標法、意匠法等の知的財産権法その他の法律及び各種条約で保護されています。事前に当社の文書による承諾を得ない限り、法律によって明示的に認められる範囲を超えて、これらの情報を使用（改変、複製、転用等）することを禁止します。



2022年度第3四半期決算報告

取締役 兼 経営執行役員

CFO & CCO (Chief Financial Officer & Chief Compliance Officer)

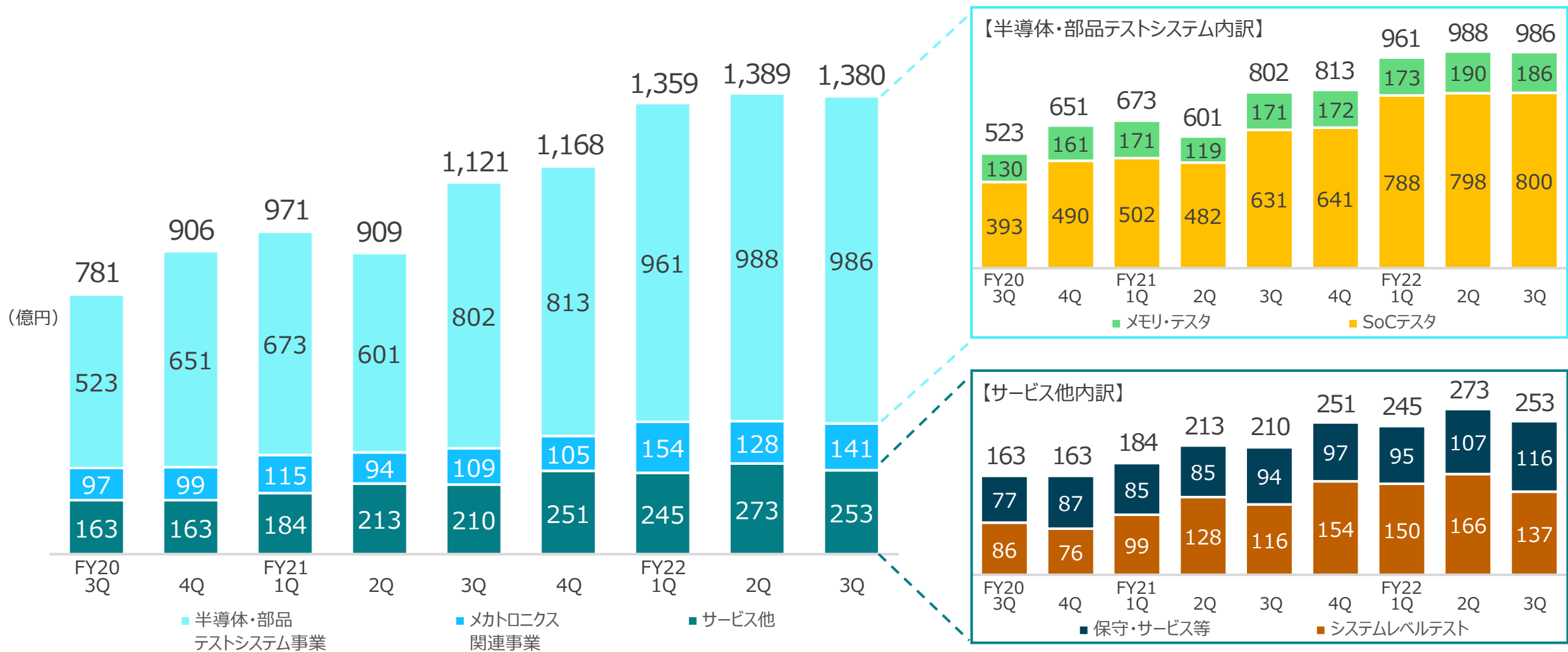
管理本部長 藤田 敦司

四半期業績推移

(億円)

	FY21				FY22				前期比		前年同期比	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	増減額	増減率	増減額	増減率	
	売上高	971	909	1,121	1,168	1,359	1,389	1,380	-9	-0.6%	+259	+23.1%
売上総利益	547	501	648	663	789	799	816	+18	+2.2%	+168	+25.8%	
売上総利益率	56.4%	55.0%	57.9%	56.7%	58.1%	57.5%	59.1%	+1.6pts		+1.2pts		
営業利益	261	214	335	337	448	431	412	-19	-4.4%	+77	+22.8%	
営業利益率	26.9%	23.5%	29.9%	28.8%	32.9%	31.1%	29.9%	-1.2pts		0.0pts		
税引前四半期利益	257	216	340	350	484	468	377	-92	-19.7%	+35	+10.4%	
四半期利益	193	159	257	264	365	347	286	-60	-17.4%	+30	+11.7%	
四半期利益率	19.9%	17.5%	22.9%	22.6%	26.8%	25.0%	20.8%	-4.2pts		-2.1pts		
為替レート	1米ドル	109円	110円	112円	115円	124円	135円	144円	9円 円安		32円 円安	
	1ユーロ	131円	131円	130円	130円	134円	139円	144円	5円 円安		14円 円安	

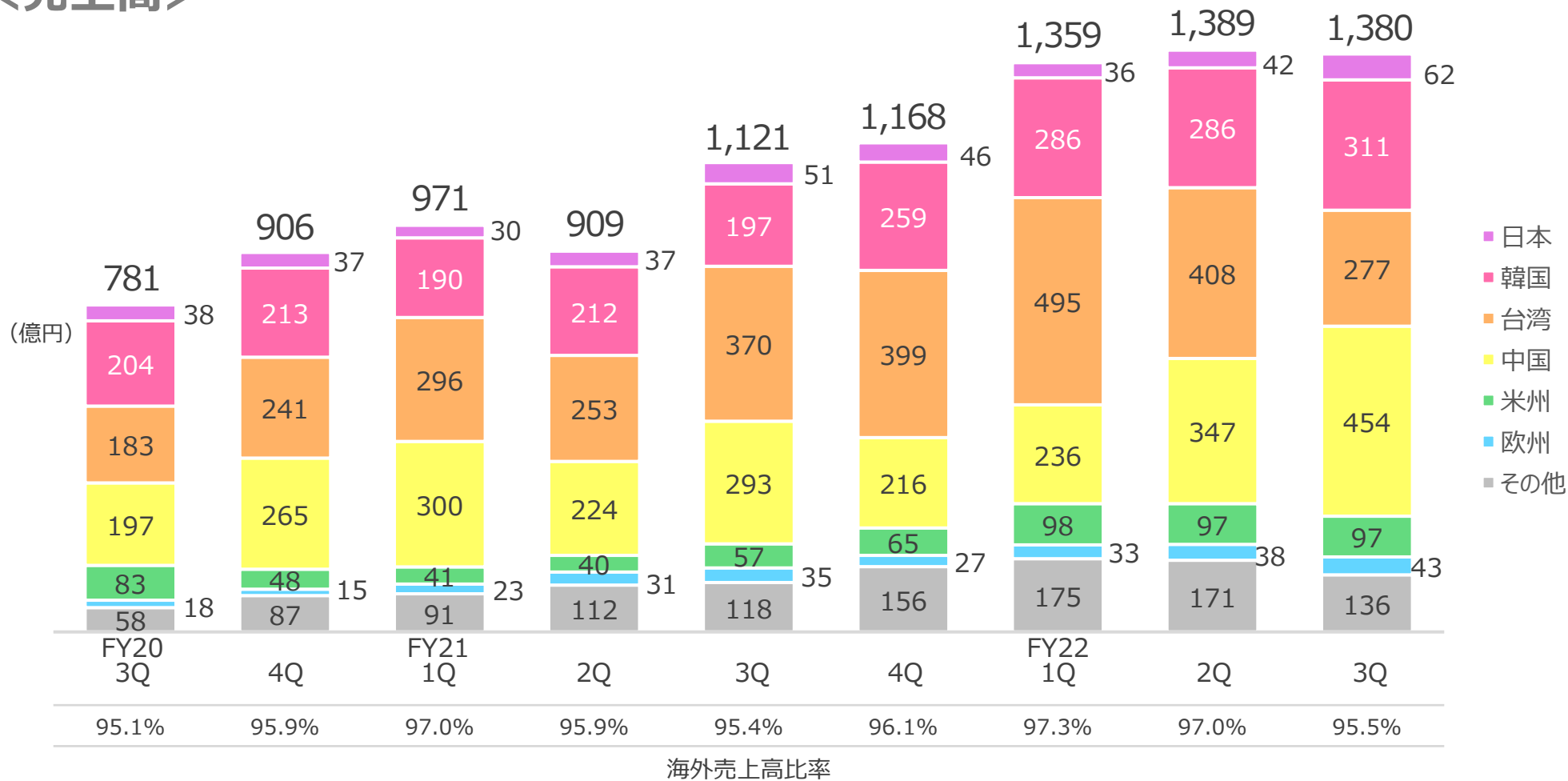
四半期売上高 事業セグメント別



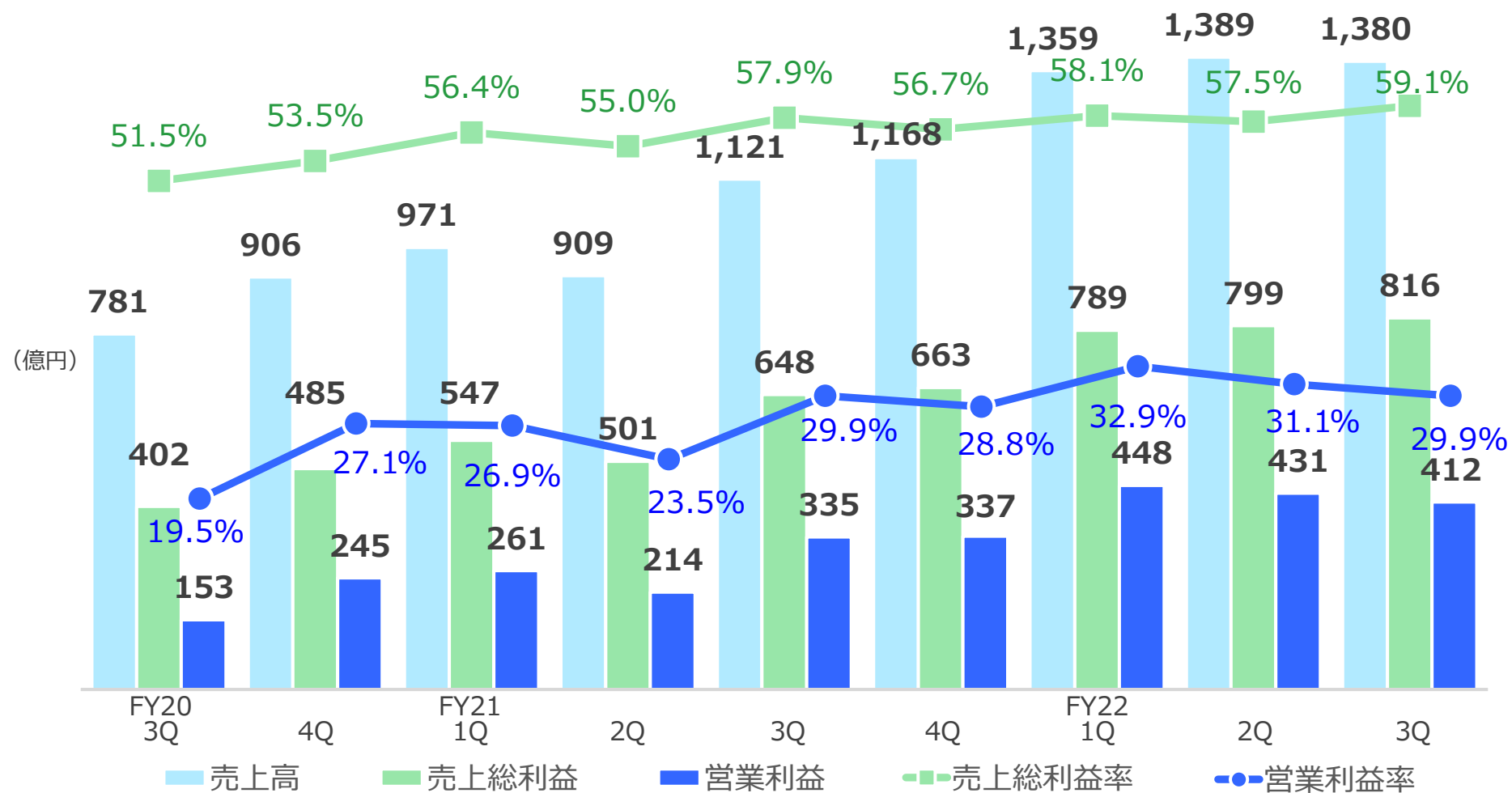
*合計にはセグメント間の内部取引の消去分が含まれます

四半期売上高 地域(出荷先)別

<売上高>



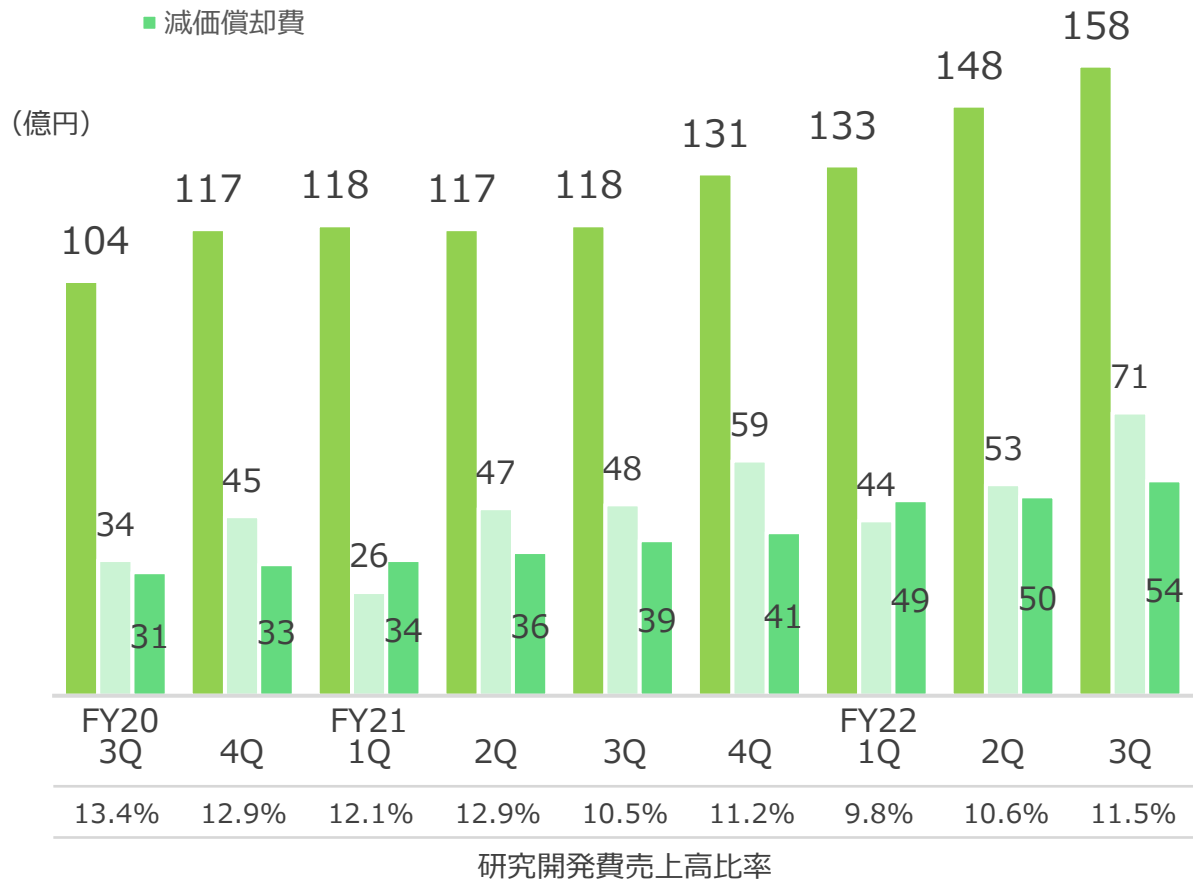
売上高/売上総利益/営業利益



投資等/キャッシュ・フロー

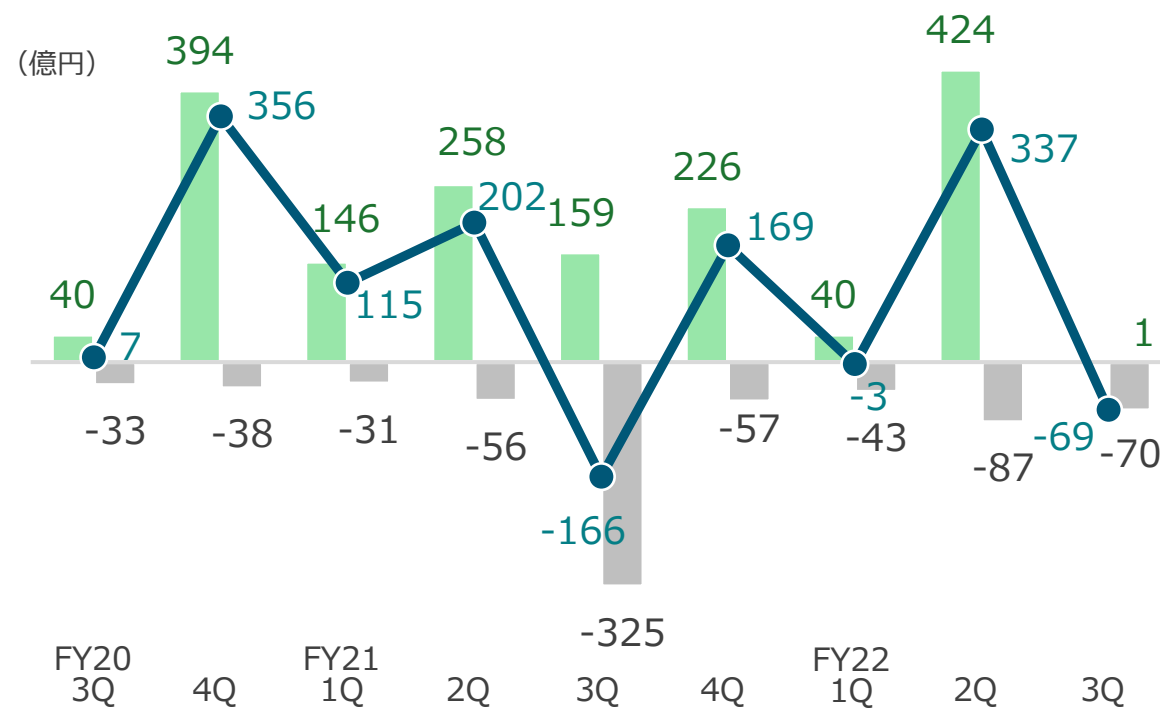
<投資等>

- 研究開発費
- 設備投資
- 減価償却費



<キャッシュ・フロー>

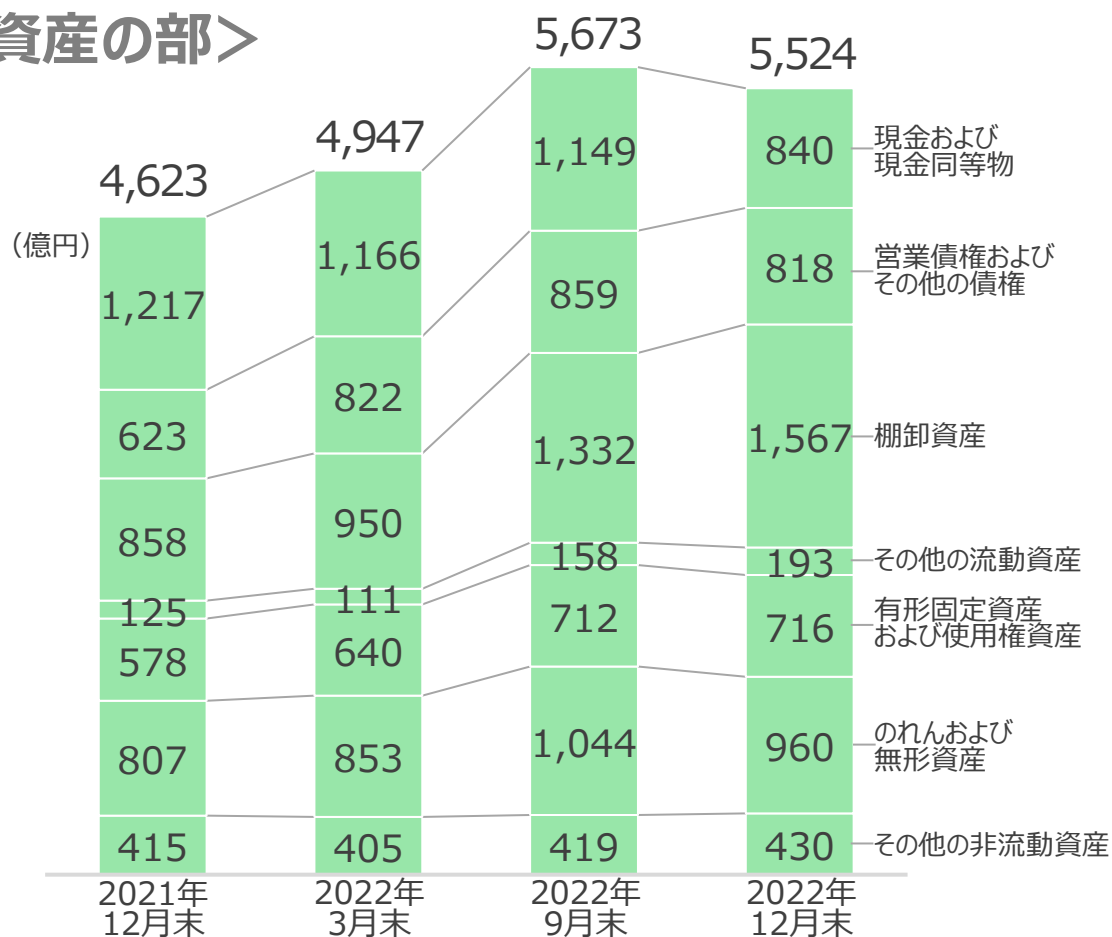
- 営業キャッシュ・フロー
- 投資キャッシュ・フロー
- フリー・キャッシュ・フロー



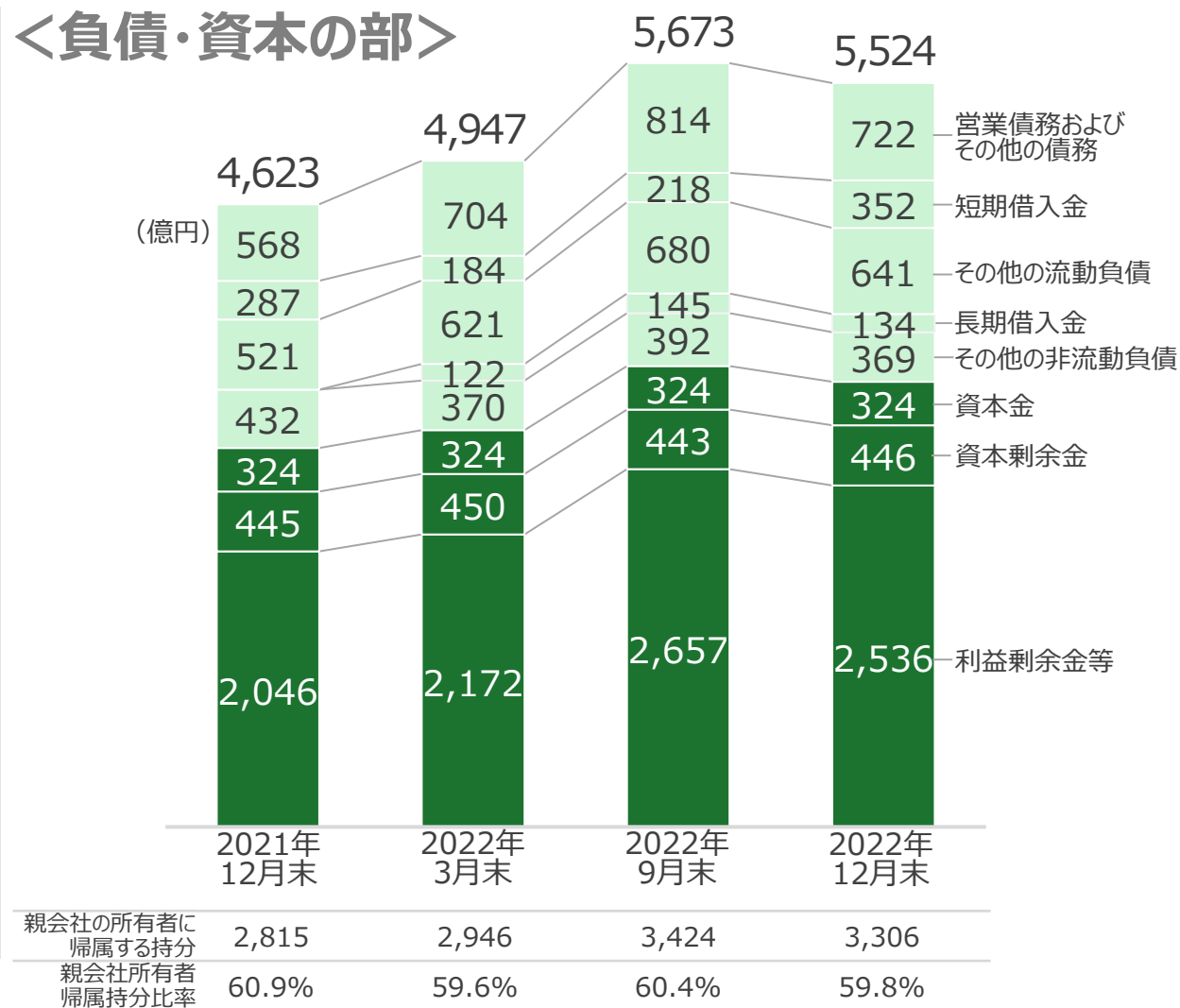
*フリー・キャッシュ・フロー = 営業キャッシュ・フロー + 投資キャッシュ・フロー

連結財政状態

<資産の部>



<負債・資本の部>



2022年度事業見通し

代表取締役 兼 執行役員社長 Group CEO 吉田 芳明

事業環境と半導体テスト市場の動向 <23年1月時点の見方>

<事業環境：景気後退懸念がさらに深まる>

- インフレ進行や金利上昇、米国による対中輸出規制強化やその他の地政学的リスクの高まりなど、世界経済の先行きに対する不透明感が増大

<半導体市場：供給過多と供給不足が混在し、半導体需要はまだら模様>

- CY22は主要民生機器向け半導体の需要減速から、関連する半導体メーカーでの在庫調整や設備投資計画を見直す動きが強まる。全体としては徐々に減速感を強めつつ推移
- CY23も半導体需要は供給過多と供給不足が混在。アプリケーションや顧客によって投資計画の調整具合にも濃淡があると見込む

<半導体テスト市場：CY23は2年連続で前年比減少のリスク>

- 顧客の次世代デバイスの開発や、戦略的な投資は継続し、高性能半導体向けのテスト量の増加がテスト需要を一定量サポートするという見方は不変。一方で、事業環境の不確実性を背景とした需要低迷の可能性

	CY21実績	CY22実績（暫定）	CY23推定
SoCテスト市場	約\$4.3B	約\$3.9B-4.1B (10月時点推定: 約\$4.1B - 4.4B)	約\$3.5B - 4.2B
メモリ・テスト市場	約\$1.3B	約\$1.2B-1.3B (10月時点推定: 約\$1.2B - 1.3B)	約\$0.9B - 1.2B

Source: Advantest

FY22業績予想

(億円)

	FY21	FY22						前年度比	
		実績	1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q予想	通期予想		
売上高*1	4,169	1,359	1,389	1,380	1,372	5,500	+1,331	+31.9%	
営業利益	1,147	448	431	412	409	1,700	+553	+48.2%	
営業利益率	27.5%	32.9%	31.1%	29.9%	29.8%	30.9%	+3.4pts		
税引前利益	1,163	484	468	377	411	1,740	+577	+49.6%	
当期利益	873	365	347	286	302	1,300	+427	+48.9%	
当期利益率	20.9%	26.8%	25.0%	20.8%	22.0%	23.6%	+2.7pts		
研究開発費	484	133	148	158	161	600	+116	+24.0%	
設備投資	180	44	53	71	52	220	+40	+22.2%	
減価償却費	150	49	50	54	57	210	+60	+40.0%	
為替レート*2	1米ドル	112円	124円	135円	144円	130円	134円	22円 円安	
	1ユーロ	130円	134円	139円	144円	140円	139円	9円 円安	

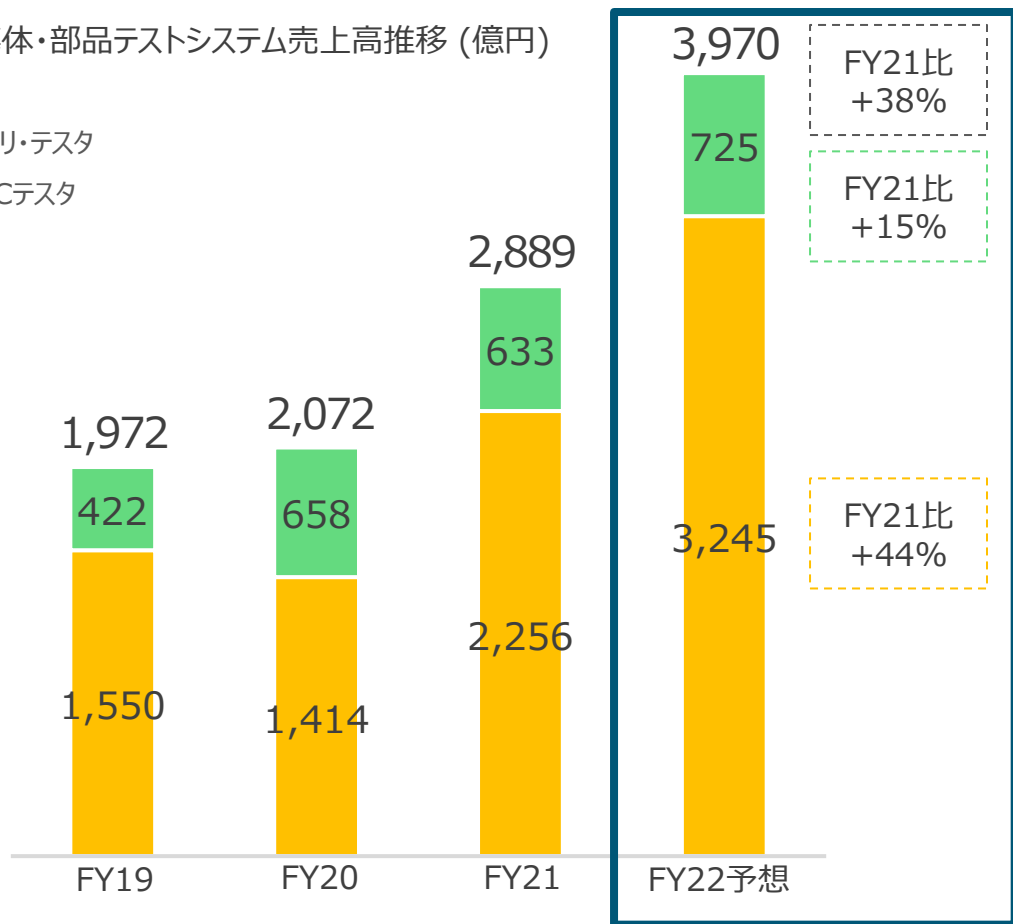
*1:合計にはセグメント間の内部取引の消去分が含まれます

*2:為替レート変動が今年度の営業利益に与える影響の最新見通しは、対米ドルが1円安時+13億円です。対ユーロは-2億円です

FY22見通し（事業別）

半導体・部品テストシステム売上高推移（億円）

■ メモリ・テスト
■ SoCテスト



半導体・部品テストシステム事業

<SoCテスト>（10月予想比 +45億円）

–スマートフォンなど民生機器向けテスト需要の延伸影響を見込むが、車載・産機向けなどの高水準な需要で相殺

アプリケーション別内訳	FY19	FY20	FY21	FY22(予)
コンピューティング・通信	70%	55%	60%	70%
車載・産業機器・民生・DDIC*	30%	45%	40%	30%

内訳比率は実数ではなく、5%近似値で丸めて表示しています

<メモリ・テスト>（10月予想比 +35億円）

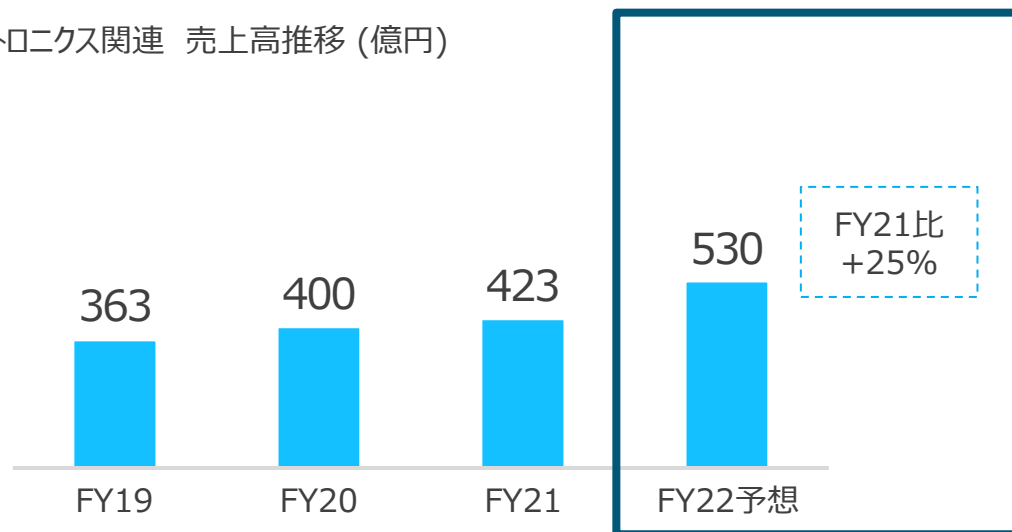
–市況軟化を受け、テスト需要への影響は一定量見込むものの、ハイエンド・メモリ向けを中心に顧客の技術投資が継続。底堅い需要推移を想定

アプリケーション別内訳	FY19	FY20	FY21	FY22(予)
DRAM	70%	60%	60%	60%
不揮発性メモリ	30%	40%	40%	40%

内訳比率は実数ではなく、5%近似値で丸めて表示しています

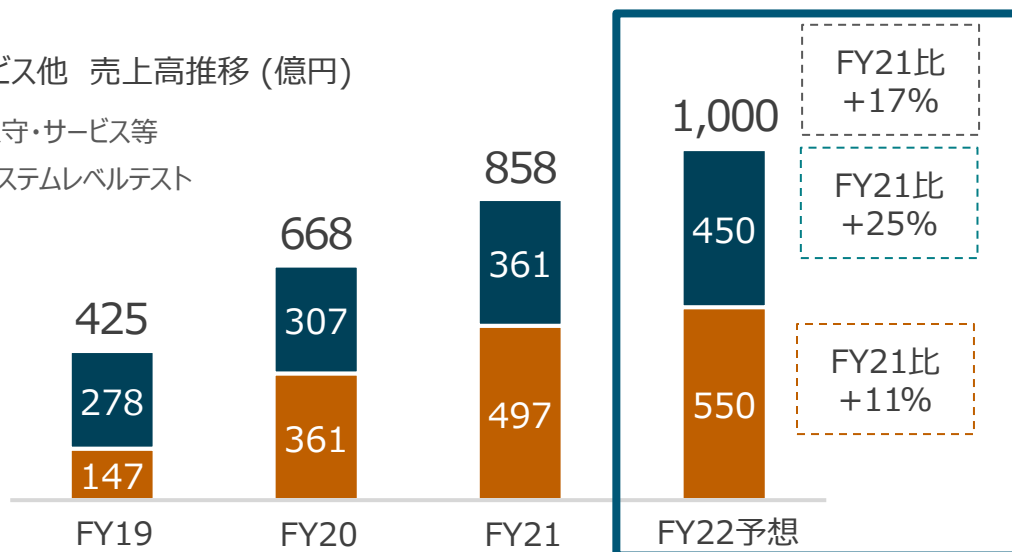
FY22見通し（事業別）

メカトロニクス関連 売上高推移（億円）



サービス他 売上高推移（億円）

- 保守・サービス等
- システムレベルテスト



メカトロニクス関連事業（10月予想比 +25億円）

- テスタ需要と連動し、高水準なデバイス・インタフェース製品の需要を見込む
- EUV露光の普及に加え、成熟プロセス向けマスク需要増がナノテクノロジー製品の需要を牽引

サービス他事業（10月予想比 -105億円）

- 当社製品の設置台数の着実な伸びにより、保守サービスの需要は堅調
- 民生機器向け半導体市況の弱含みの影響を受け、一部顧客の投資計画見直しによりシステムレベルテストの需要が減少。通期売上予想を減額

台湾Shin Puu社の買収について



概要

- 当社米国子会社はShin Puu Technology Co., Ltd（以下、「Shin Puu」）の買収契約を締結
- Shin Puuは台湾桃園市に本社を置くプリント基板（PCB）のサプライヤー（設立2001年、従業員数264名）
- 台湾当局の承認取得等、一般的なクローリング条件を満たすことによって成立。2023年4月末までに完了見込

戦略的意義

- 本買収完了後、台湾におけるPCBの生産拠点が拡充され、R&D Altanovaが製造する半導体テストおよびシステムレベルテスト向けの高性能・高密度テスト用ボードの生産キャパシティが倍以上に増加
- ターン・キー・ソリューションの強化
- 本件買収は、進化する半導体バリューチェーンにおいて試験・測定ソリューションを拡大するための当社の中長期成長戦略の一環

さらなる成長の加速に向けて

- 1月から代表取締役をGroup CEO, Group COO, Group Co-COOの3人体制へ

氏名	新役職名
吉田 芳明	代表取締役兼執行役員社長・Group CEO
Douglas Lefever	代表取締役兼執行役員副社長・Group COO
津久井 幸一	代表取締役兼執行役員副社長・Group Co-COO

- ✓ 業容拡大など経営環境変化への迅速な対応
- ✓サクセッションプランの遂行を考慮

サマリー

- インフレ進行や金利上昇など世界経済の景気後退懸念が増大
- 米国による対中輸出規制強化など地政学的リスクの拡大懸念も加わり、事業環境の先行き不透明感はさらに強まる。環境変化に対応して機敏に必要な施策を実行
- 足元の半導体市場は供給過多と供給不足の分野が混在し、テスト需要もまだら模様
- 高水準の受注残を売上につなげることで通期業績予想達成に邁進
- 複雑化する経営環境に対処するために経営体制を強化
- 半導体市場の中長期的な成長はゆるぎないと確信。持続的な成長と利益を生み出すための規律をもった投資は継続

ESG・外部評価関連トピックス

- 「DJSI Asia Pacific」の構成銘柄に初選定

※当社プレスリリース：<https://www.advantest.com/ja/news/2022/20221222.html>

Member of
**Dow Jones
Sustainability Indices**

Powered by the S&P Global CSA

- Frost & Sullivan Institute 「2022 Enlightened Growth Leadership Awards」を受賞

※2022 Enlightened Growth Leadership Awardsバーチャル表彰式
(当社紹介: 11:55~, 吉田社長スピーチ: 13:33~15:48)
<https://www.youtube.com/watch?v=7w2cUq21oQ0>

FROST & SULLIVAN INSTITUTE

E NLIGHTENED GROWTH LEADERSHIP

BEST PRACTICES RECOGNITION, 2022

- 当社群馬工場が「全国みどりの工場大賞」
関東経済産業局長賞を受賞

※当社プレスリリース：<https://www.advantest.com/ja/news/2022/20221209.html>



- 当社サステナビリティ説明会を3月下旬に開催予定



ADVANTEST®